

～ FASID 奨学金プログラム 研究報告会 ご案内 ～

国際開発機構（FASID）では、国際開発関連分野において博士の学位取得を目指す方への支援として奨学金プログラム（給付型）を実施しています。このたびは、博士論文執筆も進捗されている FASID 奨学生と指導教官を迎えて報告セミナーを開催します。報告者・吉田氏は、これまで世銀やいま注目の GCF（緑の気候基金・現職）で活躍されていますので、国際機関でのキャリアについても伺います。募集中の奨学金プログラムについてもご案内します。みなさまのご参加を歓迎します。

報告者： 吉田 奨氏 Green Climate Fund:GCF（緑の気候基金）
Independent Evaluation Unit, Evaluation Specialist
FASID 奨学金プログラム 9期生 /
政策研究大学院大学(GRIPS) 博士課程 Global Governance Program (G-cube)

講評： 高橋 和志氏 政策研究大学院大学(GRIPS) G-Cube ディレクター・教授

テーマ： バリューチェーン強化による農村開発の可能性

ブラジルにおける大規模 RCT を用いたマッチンググラントの効果検証

初期投資コストを政府と受益者が分担することを可能にするマッチンググラントは、技術導入の促進、生産性の向上、市場との連携強化を通じて経済活動を刺激する可能性がある。このアプローチは過去数十年にわたり、農業・農村開発や低中所得国における貧困削減のための公共政策ツールとして人気を集めてきた。しかし、マッチンググラントプロジェクトの普及が進む一方で、その有効性に関する実証的な証拠は依然として乏しいのが現状である。本研究では、世界銀行が資金提供するマッチンググラントプロジェクトがブラジルにおける農村開発とバリューチェーンの強化に与える影響を大規模なランダム化比較試験（RCT）の手法を用いて検証した。本報告会では本研究の結果に加え、博士研究と国際開発分野における実務との関連性についても議論する。

2024年11月19日(火) 12:00-13:15 オンライン(Zoom) 【プログラム】

詳細 https://www.fasid.or.jp/scholarship/4_index_detail.php

参加無料 (事前申込制) 言語: 日本語 (発表資料・英語)

申し込み emailにて、件名「11/19 セミナー申込」、お名前・ふりがな、ご所属、電話(昼間連絡できる先)を (gakui[at]fasid[dot]or[dot]jp)へお送りください。

締切り 11月15日(金)正午

報告者 (吉田奨・よしだ すずむ) 2020年10月より政策研究大学院大学の博士課程 Global Governance Program (G-cube)に所属。2012年より2020年の8年間、世界銀行開発経済局 (Development Economics) の DIME (Development Impact Evaluation) で勤務。同ユニットでは世界銀行の融資プロジェクトに対するインパクト評価を担当。ケニア、ブラジルを中心に RCT (Randomized Controlled Trial) を実施。担当セクターは水・衛生、農業、都市開発。現在は緑の気候基金 (Green Climate Fund) の独立評価部にて評価専門家として勤務しており、気候変動対策プロジェクトのインパクト評価に従事。サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学で経済学修士号取得。

講評 (高橋 和志・たかはし かずし) 1973年生まれ。慶応義塾大学総合政策学部卒業。政策研究大学院大学で国際開発学修士号及び開発経済学博士号取得。アジア経済研究所研究員、コーネル大学応用経済学研究科客員研究員(アジア経済研究所海外派遣員)、上智大学准教授・教授を経て現職。専門は開発経済学、応用ミクロ計量経済学。近年は特に農業技術採用、マイクロファイナンス、人的資本投資のインパクト評価を行う。共編著書に『国際協力ってなんだろう 現場に生きる開発経済学』(岩波ジュニア新書)、『テキストブック 開発経済学第3版』(有斐閣ブックス)等。

主催・お問合せ 一般財団法人 国際開発機構 FASID 奨学金プログラム事務局 (担当:服部)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19 UD 神谷町ビル 10 階, email:gakui[at]fasid[dot]or[dot]jp